

令和5年度事業報告書

学校法人 天王寺学館
理事長 富永 桂多

令和5年度の本学館の事業実績を次のとおり報告いたします。

1. 法人の概要

(1) 設置する学校・学科

- ① 天王寺学館高等学校 単位制・通信課程 総合学科
- ② 関西外語専門学校 国際文化専門課程
英語・国際ビジネス学科、日本語教員養成学科、
日本語応用学科、アジア語文ビジネス学科、
高度国際英語学科、日本語総合学科、日本語学科、
日本語専攻学科
国際高等課程 国際教養学科
教養一般課程 予備校科

(2) 学生数の状況（令和5年5月1日現在）

- ① 天王寺学館高等学校 724名
- ② 関西外語専門学校 661名

(3) 役員の概要（令和5年5月1日現在）

役員数 理事7名（定数6名～9名） 監事2名（定数2名～3名）

(4) 教職員の概要（令和5年5月1日現在）

- ① 天王寺学館高等学校 教員 46名 事務職員 6名
- ② 関西外語専門学校 教員 126名 事務職員 28名

2. 事業の概要

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類に移行し、3年にわたって続いた制約が解除され、教育活動の正常化を行う年となった。

学生・生徒数は、令和5年5月1日現在1,385名、前年度同日比220名増加した。高等学校は募集活動の強化等により99名増加し、専門学校も留学生が回復し、121名の増加となった。

【高等学校】

生徒数は増加、また通学部の比率が上昇した。

これは、社会的に通信制の認知度が上がるとともに、当校の登校頻度の多さと教育環境の充実が学ぶ意思の強い生徒に浸透し特に通学部の需要が高まっていること、また、口コミにて教員の質向上・雰囲気の良い高評価となっていることも要因である。欠席率も低く、生徒たちの登校状況を見ていると非常に学校生活を謳歌している様子に感じる。本年度も継続した本校の歩みが着実に評価されている。

【専門学校】

① 専門課程

学生数は十分にまだ回復せず、留学専攻の退学や留学辞退も発生している。しかし、次年度募集に向けては新型コロナウイルスの影響は落ち着き、広報活動を強化し、日本人学生の留学志向の上昇、4年制高度国際英語学科にも例年に比べて出願数増加とすることができた。また、就職に有利な貿易専攻・通関士試験等の資格合格実績を残す

とともに今年度卒業生も高い内定率を維持した。

② 専門課程 日本語学科

入学者予定者が増加したが、教員不足によりクラス数の減少などで募集制限を行わざるを得なかった。教育環境改善のために遮熱カーテンの設置・一部床材の張替え等を実施。学生募集に海外出張等を新型コロナ発生前に戻し積極的に行ったが中国の出張は再開できなかった。日本語教育機関告示基準に沿って教員の増員を予定していたが、今年度は採用に至らなかった。

③ 高等課程

新型コロナ感染症が5月に5類に移行したことに伴い学校運営を通常に戻すことができた。しかし、コロナ禍による海外協力機関閉鎖、海外渡航費用の高騰等により、1年の研修旅行は国内実施、2年生対象の海外ホームステイプログラムは縮小しての実施となった。進学実績は、国際教養大学合格者を5年連続で輩出することができるなど、生徒の努力が具現化している。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

(1)

(単位千円)

資金収支計算書		事業活動収支計算書		貸借対照表		
学生生徒等納付金収入	940,352	教育活動収支	学生生徒等納付金	940,352	固定資産	2,102,921
手数料収入	16,097		手数料	16,097	流動資産	757,314
寄付金収入	1,569		寄付金	1,569	資産の合計	2,860,235
補助金収入	131,909		補助金	131,909	固定負債	143,149
受取金利息・配当金収入	15		付随事業収入	15,206	流動負債	439,883
付随事業・収益事業収入	15,206		雑収入	60	負債の合計	583,032
雑収入	60		教育活動収入の部	1,105,193	基本金	3,203,480
前受金収入	338,973		人件費	622,799	繰越収支差額	△ 926,278
その他の収入	169,075		教育研究費	281,169	純資産の部合計	2,277,202
資金収入調整勘定	△ 335,893		管理経費	101,797	負債及び純資産の部合計	2,860,235
前年度繰越支払資金	597,452		徴収不能額等	12,940		
収入の部合計	1,874,815		教育活動支出計	1,018,706		
人件費支出	629,541		教育活動収支差額	86,487		
教育研究経費支出	206,851		受取利息・配当金	15		
管理経費支出	96,009		その他の教育活動外収入	0		
借入金等利息支出	2,047		教育活動外収入計	15		
借入金等返済支出	44,780		借入金等利息	2,047		
施設関係支出	0		その他の教育活動外支出	0		
設備関係支出	3,960		教育活動外支出計	2,047		
資産運用支出	1,501		経常収支差額	84,455		
その他の支出	175,002	特別収支				
資金支出調整勘定	△ 33,694	資産売却差額	0			
翌年度繰越支払資金	748,818	その他特別収入	0			
支出の部合計	1,874,815	特別収入計	0			
		資産処分差額	0			
		その他特別支出	34			
		特別支出計	34			
		特別収支差額	△ 34			
		基本金組入前年度収支差額	84,421			
		基本金組入額	△ 49,097			
		当年度収支差額	35,324			
		前年度繰越差額	△ 961,602			
		翌年度繰越収支差額	△ 926,278			

(2) その他

《役員賠償責任保険契約の状況》

対象の役員： すべての役員

契約の概要： 契約先 東京海上日動火災保険株式会社
保険期間 1年間
支払限度額 3億円(保険期間中総支払限度額)

以上